

第3期岩手県文化芸術振興指針(素案)の概要

総論部分

I 岩手県文化芸術振興指針策定の趣旨等

1 指針策定の趣旨等

岩手県文化芸術振興指針は、文化芸術振興施策の総合的かつ効果的な推進を図るため定めるものである。現行の第2期指針は、平成27～31年度を計画期間としており、本年度はその最終年度となることから、県や国の動き、社会経済情勢等の変化を踏まえた上で、第3期の指針を策定する

2 対象とする文化芸術の範囲

「芸術・芸能」「伝統文化」「生活文化」

3 指針の位置付け

岩手県文化芸術振興基本条例に基づく指針
文化芸術基本法及び障害者による文化芸術活動の推進に関する法律に基づく地方自治体の計画

4 指針の適用期間

令和2年度から令和6年度（5年間）

II 岩手の文化芸術を取り巻く情勢と現状認識

1 社会経済情勢等の変化

(1)人口の減少と少子高齢化の急速な進行 (2)東日本大震災津波からの復興の進展 (3)文化芸術への関心の高まり
(4)世界遺産登録等の取組の進展

2 県や国の動き

(1)文化スポーツ部の新設 (2)いわて県民計画(2019～2028)の策定 (3)文化芸術基本法の成立 (4)障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の成立

3 施策の取組状況

第2期岩手県文化芸術振興指針に掲げる「4つの主な施策方向」ごとの、これまでの主な取組状況

4 文化芸術に関する意識

(1)希望郷いわてモニターの方々を対象に実施した「文化芸術に関する意識調査」の概要
(2)市町村、芸術文化協会、民俗芸能や障がい者芸術の関係者等との意見交換を通じた活動の現状や課題等の把握
(3)意識調査と意見交換を踏まえた課題の抽出

III 基本的方向性

1 基本目標

豊かな歴史や文化を感じ、県民誰もが文化芸術に親しみ創造できる岩手(仮)

2 基本理念

①東日本大震災津波からの復興
②県民一人ひとりの自主性・創造性の尊重
③県民誰もが鑑賞・参加・創造できる環境の整備
④県民の共通財産としての将来世代への継承
⑤文化芸術を通じた県内外の地域間交流の積極的な推進
⑥県民、民間団体等、市町村、県の役割への理解と協働
⑦文化芸術活動を行う個人や団体、県民の意見の反映

3 各分野等における目指す姿

「芸術・芸能」「伝統文化」「生活文化」の3つの分野と、歴史的、文化的な「景観」の目指す姿を記載

4 施策の基本方向

(1)岩手の特徴を生かした文化芸術の振興
(2)県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備
(3)日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信
(4)文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築
(5)障がい者による文化芸術活動の総合的推進

5 施策体系

基本目標から、施策の基本方向と具体的推進までを施策体系として整理

今後のスケジュール

11月 第28回岩手県文化芸術振興審議会
12月 報告議案提出(12月定例会) パブリックコメント
1月 第29回、第30回岩手県文化芸術振興審議会
2月 承認議案提出(2月定例会) 3月 策定

各論部分

IV 施策の具体的推進

(★重点的取組事項)

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興

① 東日本大震災津波からの復興と文化交流の推進【拡充】★ (三陸防災復興プロジェクト2019を契機とした交流の展開等) ※【新規】:項目を新たに追加記載したもの
【拡充】:項目の取組内容を拡充したもの
② 世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進【拡充】★ (「北海道・北東北の縄文遺跡群」の新規登録、「平泉の文化遺産」の拡張登録へ向けた取組等)
③ 民俗芸能の保存・継承の支援【拡充】★ (国内外に向けた民俗芸能の魅力の発信)
④ 文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進【新規】 (合唱、箏曲、マンガ、アール・ブリュット、食文化等を通じた文化振興の推進等)

指標の例

・「世界遺産授業」の受講者数
・岩手県民俗芸能フェスティバル鑑賞者数

2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備

① 県民の文化芸術活動の支援【拡充】 (芸術体験イベントの実施、文芸活動の振興)
② 優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施
③ 児童生徒の文化芸術の鑑賞機会の提供と文化芸術活動の支援
④ 若者の文化芸術活動の支援【拡充】 (若手芸術家等の創作活動の支援)
⑤ 高齢者の文化芸術活動の支援
⑥ 障がい者による文化芸術活動の支援【拡充】★ (障がい者芸術活動支援センターを核とした支援、アール・ブリュットの周知・理解促進等)
⑦ 文化財の保存と活用【新規】 (保存と活用に関する大綱の策定、適切な保存管理への支援等)

指標の例

・岩手芸術祭参加者数
・子どものための芸術家派遣事業公演数

3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信

① 県文化芸術ホームページやSNS等による情報の発信
② 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載
③ 国内外における公演や展示などへの支援
④ 大型イベント等を契機とした文化プログラムの実施【新規】 (東京オリパラなどの機会を捉えた情報発信)

指標の例

・文化芸術関連SNSフォロワー数
・「いわての文化情報大事典」ホームページ訪問者数

4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築

① 文化芸術鑑賞・活動を支援するネットワークの形成
② 文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成
③ 文化振興基金による文化芸術活動の支援
④ 県立文化施設の整備や機能の拡充【拡充】 (計画的な施設の整備や機能の充実)
⑤ 官民一体による文化芸術推進体制の構築【新規】★ (岩手版アーツカウンシルの構築)

指標の例

・アートマネジメント研修参加者数
・岩手県文化芸術コーディネーターの活動件数

5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進

① 文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進【再掲】
② 障がい者による文化芸術活動の支援【再掲】
③ 県文化芸術ホームページやSNS等による情報の発信【再掲】
④ 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載【再掲】
⑤ 文化振興基金による文化芸術活動の支援【再掲】

指標の例

・岩手県障がい者文化芸術祭出展数
・岩手県障がい者音楽祭参加団体数

V 指針推進の考え方

1 多様な主体が参画した文化芸術の推進

文化芸術活動団体、地域、学校・教育機関、企業、市町村、県等の役割を記載

2 施策の評価

各年度の成果は、岩手県文化芸術振興審議会において報告・審議